

令和3年度 よく寄せられる質問

福島県立郡山萌世高等学校（定時制課程）

I 教育課程関係

- 1 令和4年度から新学習指導要領が施行されますが、教育活動に変更がありますか。

新学習指導要領の施行に伴い、本校の教育課程も大きく変わりますので、その概要をお知らせします。なお、令和3年度以前に入学した生徒（令和3年度時点の在校生）は卒業するまで旧教育課程に則りますので、当面は1つの学校に2つの制度がある状態になります。

- 1 昼間主コースは3年で、夜間主コースは4年で卒業することが基本となります。

本校はこれまで5・6校時に昼間主・夜間主合同の授業を設定することで、昼間主コース・夜間主コースともに1日6校時の時間割となるため、3年での卒業が可能でした。

しかし、令和4年度入学生からは昼間主・夜間主合同の授業を廃止し、昼間主コースは1日6時間、夜間主コースは1日4時間の時間割となります。その結果、昼間主コースはこれまでと同じく3年で卒業できますが（3修制）、夜間主コースは卒業まで4年かかることになりました（4修制）。

夜間主コースを4修制に変更した理由は、1つは授業を17時30分以降とすることで就労の機会を保障するため、もう1つはじっくり時間をかけて基礎学力を身に付けさせるためです。

4修制は、一般的な夜間定時制と同じです。また、学ぼうとする人の生活状況や学習経歴に合わせていろいろな学び方ができるという本校の特長を踏まえた変更でもあります。

- 2 1年間を通した学習の成果を踏まえて履修・修得の認定を行います。

これまでは1年間を前期と後期の2つに分け、それぞれの学期末に単位の認定をしていましたが、令和4年度入学生からは学期分けをせず、1年間の出席状況によって履修を認定し、その上で1年間の学習状況を評価することで修得を認定します。

なお、学期分けがなくなっても、定期考査は従来と同じく年間4回の実施です。

II 入学者選抜関係

- 1 現在、不登校傾向で保健室登校をしていますが、そのような子どもでも入学は可能ですか。

本県の選抜方法において、身体の状態については、特に就学不能と認められる者を除いては差等を付ける資料としないことになっています。

- 1 保護者と生徒のみなさまへ

「自己申告書」がありますので提出してください。

※自己申告書は不登校による欠席日数が1年間で30日以上の方が提出できるとしていますが、30日未満の日数であっても希望する者は提出することができます。

2 中学校の先生方へ

長期欠席や保健室登校等がある場合には、できれば調査書に理由を明記してください。診断書提出の必要はありません。もし発達障がいなどがあれば、そのことも記載していただければ本校としては助かります。

2 自己申告書の記載内容についてアドバイスをいただけますか。

正直に、事実をありのまま申告してください。医師による診断名があれば、それも記載してください。

なお、提出書類の記載内容に事実と相違している点が判明したときは、合格を取り消すことがあります。

3 発達障がいでのコミュニケーションがうまくとれません。面接で考慮していただけますか。

入試で配慮すべきことがあれば、「受験上の配慮申請書」を中学校へ提出してください。中学校の先生を通して、「生活・学習の様子、配慮等に関する説明書」に基づく「受験上の配慮に関する通知書」をお送りします。他の受験生と不平等にならないことを前提に、可能な範囲で対応します。

4 どのような生徒を望みますか。

本校は、多様な生徒がそれぞれの学習経歴や生活時間に応じて学ぶことのできる学校として創設されました。

本校生徒となる大前提は、これまでの学習経歴や能力にかかわらず高校で学びたいという、主体的に学ぶ意欲です。

また、本校は社会のルールを本校のルールとしていることから、自らの生活を律することができる向上心を持っていることが必要です。これは、学年制をとる他の多くの高校以上に、単位制である本校で求められることです。

以上のことから、本校の「志願してほしい生徒」を、「自らを律し主体的に学ぶ態度と向上心を持ち、自分の将来について明確な目標を有すること」としています。

5 特色選抜はどのようなものですか。

特色選抜とは、「志願してほしい生徒像」に応じて自分の志願する高校を主体的に選択し出願できる選抜です。

本校の特色選抜では、上記4を踏まえて、次のような生徒を求めています。

昼間主コース：学校^(注)の教育活動以外の場でこれまで実践してきた活動を、学業と両立させな

がら継続し発展させる意欲を有する者

夜間主コース：働きながら学ぶ意欲を有する者（アルバイトを含む）

なお、選抜は学力検査、特色選抜志願理由書、調査書、特色面接を資料として行います。また、募集定員枠は、昼間主コースは5%程度、夜間主コースは50%程度です。

(注) 学校の教育活動以外の場で実践してきた活動とは、本校生が実践してきた次のような活動をイメージしています。

ヴァイオリン、ロッククライミング、詩吟、タップダンス、俳優、将棋、ボランティア活動

Ⅲ 在籍関係

1 3年間で卒業する生徒はどのくらいいますか。

令和3年度入学生までは、昼間主・夜間主コース共通の授業（5・6校時）を受けることで、両コースとも3年間で卒業するために必要な単位を取ることができます。ほとんどの生徒が3年間で卒業しています。また、4年で卒業する生徒はそれぞれの年次の約9%です。

2 入学後のコース変更は可能ですか。

入学後に昼間主コースから夜間主コースへなどのコース変更はできません。

3 定時制課程から本校通信制課程への転籍は可能ですか

年度末から6月にかけて、通信制課程へ転籍することができます。

ただし、それ以外の時期の転籍はできません。通信制課程のどの学年に転籍できるかは、それまでに修得している単位数によって決まります。転籍試験は書類審査と面接がありますが、必ず合格するとは限りません。

4 他校からの転入はできますか。

原則として、在籍定員に欠員があり、保護者の転勤などに伴う一家転住が理由である場合に、転入学試験を実施しています。試験科目は国語・数学・英語及び面接です。

Ⅳ 進路関係

1 卒業生の進路状況はどのようなようですか。

令和2年度卒業生の就職内定率は98%でした。県外に就職する生徒もいます。

また進学は、会津大学、日本大学、東北学院大学、郡山女子大学短期大学部、会津大学短期大学部、桜の聖母短期大学などに合格し、また看護専門学校など各種専門学校へも進学しています。

一人一人の希望に即して、それぞれの進路希望実現に向けて支援しています。

2 授業を使って資格取得の勉強はさせてもらえますか。

令和2年度は、漢字検定2級、ビジネス文書検定1級（全商）、情報処理検定2級（全商）などの合格者を出しました。今年度もこれらの他に、珠算電卓検定、英語検定、硬筆書写検定などに挑戦する予定です。放課後等に課外や個別指導をしています。

なお、在学中に指定された資格を取得した場合は、学期ごとに単位を認定しています。

V 学校生活

1 どのような防災等の安全対策がとられていますか。

本校の入るビッグアイは、制震構造の建造物です。東日本大震災の際も、建造物に被害はありませんでした。非常階段の使用訓練や防災避難訓練などを、ビッグアイの防災センターと連携しながら実施しています。

2 単位制にはどのようなメリット、デメリットがありますか。

〈メリット〉

- ・自分の進路希望や興味・関心に応じた科目選択ができる。
- ・自分の学習経歴や生活に応じた学び方ができる。
- ・自分のペースで学習を進めることができる。

〈デメリット〉

- ・自分の生活管理ができないと単位取得ができず、意味のない学校生活を送る可能性がある。
- ・選択授業が多いため、一緒に授業を受けるメンバーが流動的である。
- ・主体性がないと科目の選択に迷ってしまう。

3 部活動にはどのようなものがありますか。

他の全日制高校とほぼ同様の文化部・運動部があります。グラウンドやプールはありませんが、運動部は8階のアリーナ（体育館）を使用して活動しています。部活動の種類などは、学校パンフレットや本校ホームページを参考にしてください。

4 修学旅行はありますか。どこへ行くのですか。

毎年2年次で実施しています。平成29年度は沖縄、平成30年度以降は関西方面へ行っていますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症への懸念から中止となりました。令和3年度については実施の方向で準備を進めていますが、新型コロナウイルス感染症等の感染状況を踏まえて実施の

最終的な判断をします。

5 仕事をしながら通学する生徒はどのくらいいますか。

定職に就きながら学んでいる生徒は、ここ数年はいません。アルバイトをしている生徒が4割程度います。

6 入学時、どのくらいのお金がかかりますか。

令和3年度の場合、次のとおりです。

- | | |
|-----------------------|----------|
| ・入学時諸納金（各種入会金、学級費等） | 計17,000円 |
| ・諸会費（PTA会費・後援会費・生徒会費） | 計28,000円 |

他に、教科書、運動着等の購入に28,000円程度かかりました。

7 給食は誰でも利用できますか。

8階に食堂があり、夜間主コースの生徒を対象に食券制の給食を実施しています（任意）。1食300円で、事前に申し込みをします。業者委託ですが、栄養のバランスを考えた献立を提供しています。